

平成26年度 《学校経営計画》

名張市立箕曲小学校

学校長 福原 俊武

1 学校教育目標	
自ら進んで学び、心身ともに健康で、人間性豊かなたくましい箕曲の子どもの育成	

2 めざす学校像、幼児・児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像

○学校像	○ 希望に満ちた、活力ある楽しい学校	
	○ 一人ひとりを大切にする学校	
	○ 温かみのある、安全で安心して学べる学校	
	○ 子ども、保護者、地域から信頼される開かれた学校	
○幼児・児童・生徒像	○ 進んで学ぶ子	基礎・基本の習得とともに、興味や関心をもって自ら考え学ぶ子
	○ 心豊かな子	人の話をよく聞き、他者を理解する気持ちや感動する心をもつ子
	○ やりぬく子	やるべきことを最後までねばり強く取り組む子
○教職員像	○ 子ども理解を深め、授業力の向上をめざす教職員	
	○ 互いに研鑽し合い、実践の創意工夫と改善に取り組む教職員	
	○ 全教職員一体のもと、子ども・保護者・地域に信頼される教職員	
○保護者・地域像	○ 子どもの健やかな成長のため、学校と連携し「共育」を進める保護者・地域	
	○ 子どもの安全確保や学校の環境整備ほか諸活動に協力する保護者・地域	

3 学校の現状 本年度の改善方策

<p>・児童は全体的に温厚で、活動や行事等に協力して取り組むことができているが、積極性や表現力においては、まだまだ弱さが見られる。また、地域や家庭は一般的に学校に対して好意的・協力的ではあるものの、保護者の価値観は多様化傾向が強く見られる。</p> <p>・子どもたちが「わかった」という実感や「問題が解決した」という喜びを味わうことができ、さらなる意欲をもって取り組めるよう算数科を窓口として、基礎・基本の定着、文章読解力の向上を目指して、日々の授業を大切に進めてきた。また、ICTを活用しながら、授業の中で、考える時間、考えを説明し合う時間、聴き合う時間を学習活動の中に意識的に取り入れるなど、実態に即した手だてや工夫をこらし実践してきた。これらの実践を通して今までよりも「授業が楽しい」と答える子どもたちの割合が高くなってきた。今後については、今までの実践を基礎として、活用力の充実にも目を向け更なる教育推進を図っていききたい。</p>	<p>・学年単学級の小規模校を活かし、縦割りの体験活動等にも取り組むことで、子どもたちのつながりを深め、粘り強く学習や諸活動をやり遂げていくことで達成感や自信を持たせていく。</p> <p>・職員間で各学級の子どもたちの状況や指導について提示し合い、児童理解を深めるとともに、全学年の児童を全職員で見えていくという意識のもと、学校として組織的な対応ができるよう努める。</p> <p>・全国学力調査やNRT調査の結果から児童の状況を明らかにし、基礎・基本の定着と活用力向上を図るためのきめ細やかな指導・支援に取り組むとともに、授業の中での「学び合い」の場を意識的に取り入れ実践していく。</p> <p>・いじめ防止基本方針の策定や安全教育の計画的な推進により、児童の安心・安全を確保する。</p> <p>・児童会活動の充実を図りながら、温かみのある活気に溢れた学校生活へとつないでいく。</p> <p>・職員が一丸となって児童の指導・支援にあたるよう、職員間の会話を活発にし、活気あふれる職員集団をめざす。</p>
---	---

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		23	24	25	26	27
1	自ら学び考え表現する力と確かな学力を育成する。	○	○	◎	◎	◎
2	児童一人ひとりの健康、安全、心豊かな成長を図る。	○	○	○	○	○
3	学校の組織力の向上と保護者・地域との連携を進める。	○	○	○	○	○

5 平成26年度の重点目標

重点的な取組事項－1	自ら学び考え表現する力と確かな学力を育成する。
-------------------	-------------------------

A 今年度の成果目標

学力向上に向けての実践研究を継続し、基礎・基本の確実な定着と活用力向上につながる取り組みを進める。

B 目標実現に向けた取組

具体的な方策

- ① 全国学力調査やNRT調査の結果を全教職員で共有するとともに、授業公開等を通して活用力を高める授業や学習指導について全校体制で研究に取り組む。
- ② 自分の考えをノートにまとめ、互いに自分の考えを表現し合ったりするなどの学習活動(学びあい)を意識的に取り入れる。
- ③ 学習内容の理解と定着を図るため、ICT活用を工夫し積極的な活用を推進する。
- ④ 学びの過程・結果が容易に分かり、活用力の向上につながる教室環境を工夫する。

重点的な取組事項－2	児童一人ひとりの健康、安全、心豊かな成長を図る。
-------------------	--------------------------

A 今年度の成果目標

全教職員で児童理解を深め、豊かな心と温かいつながりを育むとともに、安全で安心できる環境を整える。

B 目標実現に向けた取組

具体的な方策

- ① 子どもの現状と課題について全教職員で共有を図り、指導・支援の在り方を確認し、実践につなげる。
- ② 児童会等を中心に「あいさつ」や感謝の気持ちを伝えるための取り組みを年間を通して進める。
- ③ いじめ防止基本方針、安全教育計画等に基づき、子どもたちの安心・安全を確保する。
- ④ 地域学習や米づくりの学習等を通して、子どもたちに豊かな体験や活動の場を積極的に設ける。

重点的な取組事項－3	学校の組織力の向上と保護者・地域等との連携を進める。
-------------------	----------------------------

A 今年度の成果目標

全教職員が一体となって教育活動にとりくみ、保護者・地域の理解と協力を得る。

B 目標実現に向けた取組

具体的な方策

- ① 各教職員が学校教育目標を達成するための具体的な自己実践目標を設定し、計画的・組織的に取り組む。
- ② 過度の勤務とならないためにも報告・連絡・相談を大切にするとともに、日常的に職員間の会話を活発にして、全教職員で組織的に対応する学校体制を整える。
- ③ 保護者・地域や関係機関との連携・協力を進める。
- ④ 保護者や地域代表者などに学校経営や教育実践の状況を知らせ、課題の解決や改善に取り組み評価を行う。

